

令和6年度 指定管理者モニタリング結果及び評価シート

評価期間 令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日

施設状況

施設名称	ふじみ野市立放課後児童クラブ（西地区）	所管課	こども・元気健康部子育て支援課
指定管理者名	特定非営利活動法人ふじみ野市学童保育の会	施設分類	子育て支援施設
指定期間	令和5年4月1日 ~ 令和10年3月31日	利用料金制導入	なし（指定管理料のみ）
導入年月日	平成23年9月1日	指定回数	4回
施設設置目的	小学校に就学している児童であって、その保護者が就労等により、昼間家庭にいないものにつき、家庭、地域等との連携の下、発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるよう、当該児童の自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等を図り、もって当該児童の健全な育成を図る。		
施設概要	大井・第2大井・第3大井放課後児童クラブ（定員100名、延床面積331.24㎡）、鶴ヶ丘放課後児童クラブ（定員80名、延床面積284.09㎡）、第2鶴ヶ丘放課後児童クラブ（定員60名、延床面積164.37㎡）、東原・第2東原・第3東原放課後児童クラブ（定員120名、延床面積336.20㎡）、西原放課後児童クラブ（定員40名、延床面積173.14㎡）、亀久保・第2亀久保・第3亀久保放課後児童クラブ（定員120名、延床面積385.89㎡）、三角放課後児童クラブ（定員80名、延床面積156.09㎡）、第2三角放課後児童クラブ（定員40名、延床面積93.57㎡）、東台放課後児童クラブ（定員66名、延床面積165.62㎡）		
管理運営の基本方針	児童クラブ施設の管理について、児童福祉法及びふじみ野市立放課後児童クラブ条例の趣旨に則り、児童クラブ設置の目的を効果的に達成することを目的とし、住民サービスの向上と業務の効率化を目指す。		
指定管理者の主な業務	放課後児童クラブの保育実施に関すること。 児童クラブの施設、設備等の維持管理に関すること。		

評価項目

- 【評価基準】
- 5：指定管理者のノウハウや努力等により、要求水準を大きく上回っている場合
  - 4：要求水準を上回っている場合
  - 3：要求水準を満たしている場合
  - 2：要求水準を下回っている場合
  - 1：要求水準を大きく下回る場合（改善指導が必要）

1 施設の設置目的の達成に関する取組

施設の設置目的や市が示した基本方針、また、自ら提案した内容に沿った管理運営であったか		評価
管理運営状況	保護者が昼間就労等により家庭にいない児童に適切な生活や遊びの場を提供し、法人が提案した運営方針に基づいて運営を行った。コミュニケーションアプリを導入することにより、保護者と施設の連絡がより簡単に行え、ICT化をより進められた。	3
区分	具体的な取組の状況・実績	
児童の健全育成	東原・東台小学校の統合に向けて、施設の見学・児童の交流会を定期的を実施した。また統廃合後も変わらず保育が出来るように、職員配置についても配慮を行った。	
利便性の向上	利用者の負担軽減のため、自主事業である弁当サービスの利用申請の電子化を行った。	
職員交換研修の再開	新型コロナウイルス感染症の蔓延防止のため中止となっていた職員の交換研修を再開し、他クラブに交換研修に行くことで保育の質を高めることが出来た。	

2 指定管理者の健全性

団体の財務状況や組織体制は安定していて、施設管理を継続的、安定的に行うことができるか		評価
外部専門家からの指摘事項の概要	現預金残が十分あり、手堅い。令和6年3月期は、前期に引き続き黒字。	3
その他特記事項		

3 施設の有効活用

施設利用状況		利用区分等	予定（計画・目標） 単位	利用実績 単位	対前年比	年度目標達成率	評価
		月平均在籍児童数	706 人	751 人	108.5%	106.4%	3
（特記事項） 昨年度利用実績：692人 予定人数は、令和6年度放課後児童クラブ定員数である。							
事業実施内容	区分	協定内容・指定管理者提案		追加事業、未実施事業及びその理由			
	市指定事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の運営に関すること</li> <li>施設及び設備の維持管理に関すること</li> <li>個人情報保護、守秘義務及び本業務に関する情報の公開に関すること</li> <li>意見・要望への対応</li> <li>運営改善の取組に関すること</li> <li>児童の保育及び健全育成に関すること</li> <li>その他指定管理に関する業務</li> </ul>		追加事業			
	自主事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>長期休み（夏休み・冬休み・春休み）の一時保育</li> <li>延長保育</li> <li>昼の弁当注文サービス</li> <li>ふじみ野学童フェスティバル</li> </ul>		未実施事業	ふじみ野学童フェスティバルについて、昨年度まで新型コロナウイルス感染拡大防止のための中止が続いていた影響から、再開は令和7年度に見送ったが、「子どもフェスティバル」や「子どもまつり」に遊びコーナーやバザーで出店し、来年度への足掛かりとした。		
利用サービス向上の取組		<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の長期休業期間や振替休日等における一日保育の朝延長保育（午前7時30分～午前8時）を無償とする他、夕方延長保育（午後6時30分～午後7時）を1回200円で実施することにより児童の預け先に苦慮している保護者のニーズに対応した。</li> <li>夏季・冬季・春季の長期休業期間において登録児童数が定員に達していない児童クラブを対象に一時保育を実施することで児童の預け先に苦慮している保護者のニーズに対応した。</li> <li>長期休業期間の全平日（弁当業者休業日は除く）に注文弁当サービスを実施し保護者のお弁当作りの負担軽減を図った。</li> </ul>					

4 利用者評価

区分	内容		評価
利用者の要望把握	(1) 利用者要望把握方法	利用者アンケート	3
	(2) 調査、会議等の内容 【実施時期】令和6年12月2日～12月13日 【調査方法】放課後児童クラブ利用保護者に対し、LoGoフォームにてWEBアンケートを実施 【調査項目】①保護者への対応②子育てに関する相談対応③情報提供④支援員と児童の関係⑤児童同士の関係⑥保護者同士の関係⑦保育内容⑧保育行事⑨遊具・施設⑩(1)おやつの内容⑩(2)おやつの量⑩(3)おやつの提供時間⑪利用時間⑫総合的印象		
	(3) 調査、会議等の結果 配布数：591世帯。回答数：334世帯。回答率：56.5% ・回答を「満足」「やや満足」「ふつう」「やや不満」「不満」の選択制で調査した結果、各項目とも「満足」～「ふつう」は92.5%を超えている。 ・⑫「総合的印象」は、「満足」「やや満足」が84.8%、「ふつう」を含めると98.6%であった。		
利用者からの評価・要望・苦情等	(1) 良好とする評価 <ul style="list-style-type: none"> <li>いつも丁寧に対応していただいている。</li> <li>大きな事故やケガ、行方不明などが起きていないのは、決して当たり前ではなく、先生たちのおかげだと思っている。</li> <li>本当に子供が毎日楽しく利用させていただいている。</li> <li>学校の登校時間が突然遅くなる時なども、しっかり対応していただきありがたい。</li> </ul>		3
	(2) 苦情・改善等の要望事項 ①たとえば学期末ごとに、児童クラブでの様子などを個別面談形式で共有していただける機会があれば、なおありがたい。 ②お菓子ばかりでなく、たまにはおにぎりやパンの提供もしてほしい。 ③宿題をやってからおやつになる工夫が欲しい。6時間授業の高学年は「宿題をやる時間が無かった」と言う。  《対応措置》 ①次年度以降は希望制で面談を実施していく。また、悩み事などはいつでもご相談いただけるようにしていく。 ②パンやベーグルなどを提供する場合もあるが、今後はさらに色々なものを提供できるよう考えていく。 ③宿題の量も個人差があり、宿題後におやつを食べると16時頃に食べる子も出てしまうため、希望に合わせ個別に対応していく。		

5 事業収支

(単位：円)

	指定管理者収支（令和6年度）				市の収支				評価	
	年度計画額		収支実績額		令和6年度決算		令和5年度決算（前年度）			
	項目	金額	項目	金額	項目	金額	項目	金額		
①指定管理 業務事業収支	収入	利用料金	0	利用料金	0	歳入	施設使用料	67,391,000	施設使用料	62,802,500
		事業収入	0	事業収入	0		行政財産使用料	0	行政財産使用料	2,920
		指定管理料	202,696,000	指定管理料	243,522,831		国庫支出金	57,818,000	国庫支出金	50,529,500
		雑入	25,000	雑入	244,203		県支出金	57,818,000	県支出金	50,344,000
		自主事業からの充当	1,326,000	自主事業からの充当	1,467,634		その他	2,804,607	その他	2,937,342
		計	204,047,000	計	245,234,668		計	185,831,607	計	166,616,262
	支出	人件費	176,492,000	人件費	205,779,079	歳出	修繕料	0	修繕料	338,800
		消耗品費	1,920,000	消耗品費	3,363,112		保険料	136,371	保険料	131,937
		光熱費	2,811,291	光熱費	4,051,928		指定管理料	243,522,831	指定管理料	213,153,499
		水道料金	337,709	水道料金	433,899		業務委託料	0	業務委託料	386,760
		委託料	2,140,000	委託料	1,742,400		土地・建物賃借料	0	土地・建物賃借料	0
		賃借料	350,000	賃借料	214,406		その他	13,085,642	その他	6,067,227
		通信費	2,000,000	通信費	2,070,131					
		保険料	545,000	保険料	779,464					
		修繕費	900,000	修繕費	1,377,110					
		事業費（市指定事業）	3,873,000	事業費（市指定事業）	5,327,631					
		公租公課	0	公租公課	5,350					
		一般管理費（本社経費等）	12,678,000	一般管理費（本社経費等）	18,166,987					
		計	204,047,000	計	243,311,497		計	256,744,844	計	220,078,223
		収支	0	1,923,171	差引		△ 70,913,237	△ 53,461,961		
②市への納付金 ※納付金がある施設のみ	市への納付金	支出	0	支出	0					
③最終収支（①－②）	収支	0	1,923,171							
●自主事業収支	収入	3,481,000	収入	4,432,814						
	支出	2,155,000	支出	2,965,180						
	自主事業収支	1,326,000	自主事業収支	1,467,634						
分析	人件費比率【人件費／指定管理者事業支出】								84.6%	
	事業収支における経営分析				指定管理料については、児童数増加に伴う支援単位数の増加及び加配児童数の増加に伴う加配職員の増加に係る人件費を支払ったため、計画額を上回った。支出については、物価及び光熱費高騰の影響により計画額を上回ったが、収支においては黒字運営を実施することができた。					
	一般管理費が、計画額と実績額で異なる理由				事務局職員の給与ベースアップ及び求人広告費の上昇に加え、新たに労働安全衛生に係る職員研修を実施したため。					

6 管理運営全般

※すべて「適」で「3」。「4」・「5」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
市との連携	1 市への報告、連絡、相談又は協議が適切に行われたか	適	3
	2 市からの指示等に対し適切な対応が図られたか		
職員配置	1 施設管理運営に必要な人員が適正で有効に配置されているか	適	
	配置実績 運営及び事務を統括する統括責任者1人、労務管理及び経理事務等の担当者を1人以上配置。各施設に2人以上の常勤放課後児童支援員を配置。そのうち1人を責任者となる所長とし、1人を所長の代理となる副所長として配置。設備運営基準条例第8条第3項各号に定める資格を有する者かつ常勤の者を、各支援単位につき1人以上配置。		
	2 専門性を備えた職員、有資格者が必要に応じて配置されているか		
	3 労働関係法令を遵守し、職員の適正な労働条件を確保しているか		
平等利用	4 職員の資質・能力向上を図り、施設を適切に運営するための取組みや研修がなされたか	適	
	1 特定の団体や個人に偏らない、公平・公正な、透明性の高い運営がなされたか		
経理	2 利用許可、減免等の事務手続きが適切に行われたか	適	
	1 施設の管理運営に係る収支の内容や、指定管理料、利用料金等の取扱いは適切に行われたか		
施設・備品の維持管理	2 収支内容等を記載した帳簿を整備しているか	適	
	1 必要とされている保守、点検、清掃、保安、警備等、必要な維持管理業務が確実に行われたか		
その他	2 備品は台帳、目録等を整備の上、管理が適正に行われたか	適	
	1 日常的、定期的に業務の点検、監視が行われたか		
特記事項	2 事業計画・報告書、予算書・決算書や、施設の利用状況などの定期報告、点検・検査結果報告などが適切な時期に提出されたか		

7 危機管理体制

※すべて「適」で「3」。1箇所でも「否」の場合は「1」。「4」・「5」・「否」とする場合は、必ず特記事項欄に理由を記載すること。

区分	確認内容	適否欄	評価
安全対策	1 危機管理マニュアルが整備されているか	適	3
	2 危機管理マニュアルの内容が職員に周知されているか		
	3 常に、日常の事故防止などに注意を払っているか		
個人情報保護	1 施設の利用者の個人情報を保護するための対策が適切であったか	適	
防犯、防災対策	1 防犯、防火などの対策、体制が適切であったか	適	
	2 防災訓練など、必要な訓練が実施されたか		
緊急時対応、体制	1 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか	適	
	2 必要な保険に加入するなど、利用者などからの損害賠償請求への対応措置が講じられているか		
特記事項			

総合評価

【総合評価】 A:とても優れている / B:優れている / C:適正である / D:努力が必要である / E:改善が必要である

総合評価	評価項目	評価	総合評価		子育て支援施設
	施設の設置目的の達成	3	C		
	指定管理者の健全性	3			
	施設の有効活用	3			
	利用者評価	3			
	事業収支	3			
	管理運営全般	3			
	危機管理体制	3			

**評価理由**

- ・情報共有等の連携を徹底し、日々の管理運営業務を円滑に行うことができたため。
- ・利用者のニーズを満たすための自主事業を複数実施し、サービスの向上に繋がったため。
- ・利用者アンケートにおいて、総合印象評価における「満足」と「やや満足」の合計が84.8%の高水準であることから、利用者からの支持を得られていることが分かるため。

取組・改善等	前年度からの課題・改善事項	実施状況	次年度へ向けての目標・取組・改善事項
	<ul style="list-style-type: none"> <li>①不審者・防犯対策として児童クラブに防犯カメラを設置する必要性が生じた。</li> <li>②児童の入退室管理がアナログ方式であった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①1つのクラブに防犯カメラを設置した。市の要綱に基づいて運用する。</li> <li>②アプリを導入した。まず連絡帳や出欠連絡についてICT化を進めた。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>①防犯カメラを設置するクラブを、順次増やせるよう取り組む。</li> <li>②入退室管理機能を使って、保護者に入退室の連絡を行う。アンケート機能を使い、弁当サービスの注文の電子化を行う。</li> </ul>

指定管理者自己評価

(1) 評価期間の取組に対する評価

①サービス向上に向けての取組

- ・保護者会のリモート開催について、引き続き行っていく。対面とリモートのハイブリッド開催とする。
- ・長期休み中は、保護者の負担軽減のため、お弁当サービスを実施している。
- ・インカムの台数を増やし、距離の離れた正規職員・パート職員がリアルタイムに情報共有ができ、より丁寧な保育が行えた。外遊びに限らず、2階建てクラブ内での情報共有にも使用している。

②業務の効率化に対する取組

- ・コミュニケーションアプリを導入したことにより、出欠の確認・保護者からの連絡をタブレットで確認しやすくなった。また施設からのお知らせも保護者の未読がわかるようになり、周知漏れをなくすことができた。お知らせ機能を使い、クラブ便り・保護者会資料を送信することで、ペーパーレス化に繋げていく。
- ・買い出し時間と労力、そして所持現金を減らすことを目的として、全クラブでおやつをコープ利用に切り替え、おやつ代口座からの引き落としにした。
- ・冷暖房の効率化をはかるため、毎年エアコンクリーニングを実施している。

③その他

- ・食中毒事故を未然に防ぐ目的で実施されている、埼玉県主催の「食の安全基礎講座」に正規職員及びパート職員が全クラブから参加し、食中毒予防や正しい手洗い方法などについて学び、おやつ提供の業務に活かした。また施設の所長及び副所長に、労働者の安全と健康を確保するため「安全衛生推進者」研修を受講させた。
- ・引き続き、実行委員メンバーとしておおい祭りや子どもフェスティバル等、地域のまつりに参加して、地域との交流を図っている。

(2) 管理業務実施上の課題

- ・パート職員の勤怠管理の電子化。
- ・定員越えの大型クラブが増え、正規職員雇用数に余裕をもたせているが、パート職員の定着率を高めるためにも、働きやすい職場環境を整えていくことが課題となっている。

(3) 次年度以降の取組

- ・入退室管理システムを全クラブで開始し、保護者がより安心して利用できるようにする。
- ・お便り・保護者会資料などをコミュニケーションアプリを使い送信しペーパーレス化を進める。
- ・防犯カメラを設置するクラブを、順次増やせるよう取り組む。
- ・法人主催「学童フェスティバル」の開催をはじめとして、引き続き、地域に根差した活動に取り組む。